

ゼロ・ウェイストの町

2003 年、上勝はゼロ・ウェイスト宣言を採択し、埋め立てや焼却炉の使用を避けるためにリサイクルを利用する、日本で最初の地方自治体となりました。全国平均の約 20%と比較して、この町は現在その廃棄物の 80%をリサイクルしています。この町はゴミ回収車による戸別のゴミの回収を行ったことはなく、住民は町の財政負担を軽減することに協力してきました。住民は、有機廃棄物はすべて自宅で堆肥化し、非有機廃棄物は各自でゼロ・ウェイストセンター内のゴミステーションに持ち込み、また廃棄物を 45 種類に分別しています。

多くの斬新なアイデアが、住民の協力意欲を高めてきました。紙や洗剤の袋、歯ブラシ、使い捨てカイロといったものを分別すると後で商品と交換できるポイントが付与されます。買い物の際にレジ袋を断ったり、食べ物をテイクアウトするときや、醤油のような量り売りの商品を購入する際に容器を持参したりするとポイントがたまります。新生児のいる家庭には 2017 年から再利用可能な布おむつが配布されています。オムツなどは衛生上の理由からリサイクルができない製品のひとつで、リサイクル率 100%に立ちはだかっています。

地域の暮らしを訪問者に体験させてくれるさまざまなプログラムがあります。Inow はそういったプログラムの一つで、2020 年七月に開始されました。参加者は 2 週間のプログラムの間に上勝の廃棄物に対する価値観について深く学びます。参加者は町内の個人宅に滞在し、上勝の暮らしを彼ら自身で体験できるように組まれたアクティビティを通して、地域の人々から「ゼロ・ウェイスト」について学びます。上勝の事業所もまた、ゼロ・ウェイストプログラムに関心があり、数日から数ヶ月の範囲で滞在することのできるインターンを受け入れています。